

ぎふ農福連携アクションプラン



令和4年4月

岐 阜 県

1 プラン策定の趣旨

- 農福連携は、障がい者の農業分野での活躍を通じて、労働力の確保による農業経営の継続・発展とともに、障がい者の社会参画を実現する取組みとして、全国各地に拡大しつつある。
- 本県でも、平成30年4月にぎふアグリチャレンジ支援センター内に「農福連携推進室」を設置以降、地域も含めた推進体制の整備、農作業受委託のマッチング、人材の育成等を展開し、農福連携の取組みが進みつつある。
- しかしながら、今後、農福連携の取組みをより一層進めるためには、農業や福祉、教育関係者等が共通認識のもと、横断的かつ計画的に各施策を推進する必要がある。
- このため、関係部局・機関の連携のもと、本プランを策定する。

2 計画期間

- 令和4年度から7年度までの4年間
※「ぎふ農業・農村基本計画」の終期に合わせる

3 基本的な取組方針

- 農福連携は、「誰一人取り残さない」などのSDGsの理念に通じ、地域共生社会の実現に資する取組みであるため、関係者の強力な連携のもと、農業と福祉の双方が「Win・Win」の関係を構築し、県内における農福連携の定着を図る。
- 具体的には、農業と福祉間の相互理解はもとより、「農福連携の理解促進と認知度向上」「農福連携を支える人材育成」「農業と福祉のニーズをつなぐマッチングの強化」「障がい者等が働きやすい環境の整備」「ブランド力向上・販路拡大」の5本を柱として、各種施策に取り組む。
- 農福連携は、想定される4つの類型（雇用型、作業受委託型、農業参入型、特例子会社型）の課題に応じた施策に取り組む。

4 計画の推進と管理

- 農福連携を全庁的に推進するため、部局長で構成する推進本部を設置し、本プランの推進と管理を実施する。
- 岐阜県農福連携地域ネットワーク会議に意見を聴収して評価し、次の取組みにつなげる。

5 本県における農福連携の取組み

(1) 農福連携の理解促進と認知度向上



- ①農福連携の優良事例を掘り起こし、全国表彰「ノウフク・アワード」等を活用しながらロールモデルとして発信し、農業者、福祉関係者、県民の認知度向上を図る。
- ②先進地視察や優良事例の講演等の研修会を開催することで、農業関係者、福祉関係者等の農福連携への理解促進を図る。
- ③地域での取組みについて、地域連携会議内での情報共有と相互理解を促進するとともに、広報誌等を通じて情報発信を行い、地域住民の理解度、認知度の向上を図る。
- ④農業フェスティバルや地産地消フェアにおいて、「ノウフクマルシェ」などを開催するとともに、各種広報媒体により情報発信することで、農福連携の取組みやノウフク商品に対する県民の認知度向上を図る。



下呂地域連携会議



農業フェスティバル会場でノウフクマルシェ開催

(2) 農福連携を支える人材育成



- ①福祉事業所職員等を対象とした栽培技術基礎講座やオンラインによる栽培管理相談の実施により、福祉事業所職員が栽培技術を身に着けることで、農業参入しやすい環境づくりに取り組む。
- ②現場で農業者や障がい者の作業支援等を行う岐阜県農業ジョブコーチを育成し、栽培現場での支援体制を整備する。
- ③農業関係高校、岐阜県農業大学校においては、身に付けた知識や技術を活用し、農福連携など地域や社会の健全で持続的な発展を担うことができる人材育成を推進する。
- ④地域に貢献する人材を育成するため、「働きたい！応援団 ぎふ」への農業関連企業の登録を推進し、特別支援学校高等部卒業後の農業分野への就労を促進する。



栽培基礎講座の実習の様子



岐阜県農業ジョブコーチ養成研修の実習の様子

(3) 農業と福祉のニーズをつなぐマッチングの強化



- ①地域連携会議と障害者就業・生活支援センター等が連携し、農業への就業や就労を希望している障がい者等や農福連携に関心を持っている農業者や福祉事業所の掘り起こしとニーズの実態調査を実施する。
- ②障がい者や農業者、福祉事業所のニーズをもとに、ぎふアグリチャレンジ支援センター農福連携推進室と地域連携会議が連携して、農作業受委託などのマッチングを推進する。
- ③就労前の雇用のミスマッチ防止のため、農業に取り組む企業を対象に職場実習や職業訓練を実施する。
- ④農業者が障がい者をお試し雇用する際の労賃を助成することで、雇用を促進する。



柿の収穫



サトイモの毛羽取り

(4) 障がい者等が働きやすい環境の整備



- ①福祉事業所等の農業参入や障がい者が働きやすい環境整備の取組みに必要な施設、機械等の導入費用を助成し、障がい者の雇用を促進する。
- ②農作業の切り出し動画を作成し、農業者が障がい者への作業指示のやり方を理解しやすくすることで、障がい者の雇用を推進する。
- ③各障害者就業・生活支援センターとぎふアグリチャレンジ支援センターが連携して、農業分野への就職を希望する障がい者の一般就労や職場定着を支援する。
- ④農福連携に取り組もうとしている農業者や福祉事業所に対し、岐阜県農業ジョブコーチなどの専門的人材を派遣し、障がい者の特性や接し方、農作業の細分化方法を教えるなど、受入れ時の支援の充実を図る。



切り出し動画配信



農福連携マニュアル等

(5) ブランド力向上・販路拡大



- ①「ノウフク J A S 認証」の取得に係る費用を助成し、ノウフク J A S 商品の販売を通じた農福連携の認知度向上と魅力の発信を図る。
- ②複数の福祉事務所等のノウフク農産物の集荷から販売まで一貫した新たな流通体制を構築し、販路の拡大を図る。
- ③障害者就労施設等、障害者雇用努力企業からのノウフク商品等の調達について、市町村と連携して優先的発注に取り組む。
- ④ノウフク商品の開発や経営改善等を目指す福祉事業所に対し、専門的知識を持つコンサルタントを派遣するほか各種研修会を実施。
- ⑤岐阜県セルフ支援センターにおいて、インターネットを活用した販路拡大・確保の支援等を実施。



ノウフク J A S
ロゴマーク例

6 推進指標

	指 標 項 目	現状値 (R2末)	目 標 (R7末)
1	岐阜県農業ジョブコーチ育成数(人)	10	60
2	農業者と福祉事業所のマッチング数	38	138
3	農林漁業への障がい者就職件数 (ハローワーク公表)	63	75
4	ノウフク J A S 認証数	0	7
5	農福連携に取り組む主体数	129	205
6	障がい者の農業への就労者数	421※	718
7	岐阜県内の就労継続支援B型事業所の平均工賃(円)	15,346	20,000

※R3末の数字

<各指標の内容>

① 岐阜県農業ジョブコーチ育成数

- ・ R2に初めて10名の岐阜県農業ジョブコーチを育成。R3の育成数 9名。
- ・ 育成目標 10名/年。

年度	R2迄	R3	R4	R5	R6	R7	合計
育成数	10	10	10	10	10	10	60

② 農業者と福祉事業所のマッチング数

- ・ ぎふアグリチャレンジ支援センターが関わったマッチング数。
- ・ H30～R2の3年間のマッチング数 38件(約13件/年)。

年度	R2迄	R3	R4	R5	R6	R7	合計
マッチング数	38	20	20	20	20	20	138

③ 農林漁業への就職件数(ハローワークがあっ旋した就職件数)

- ・ 岐阜労働局集計。ハローワークを通じた障がい者就職件数。
- ・ 「農林漁業」として集計。

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数	63	65	67	69	72	75

④ ノウフクJAS認証数

- ・ 県内の認証者数は0。
- ・ R4は1件の育成を目指し、R5以降は2件/年を目標とする。

年度	R2迄	R3	R4	R5	R6	R7	合計
認証数	0	0	1	2	2	2	7

⑤ 農福連携に取り組む主体数

- ・ 国の農福連携等推進ビジョンに採用されている指標
- ・ 厚生労働省通知に基づく工賃(賃金)実績調査において、農福連携に係る生産活動の実施状況の確認項目。
- ・ 農林事務所、ぎふアグリチャレンジ支援センターによる調査で確認。
令和2年度までの内訳は農業関係(42)、福祉関係(87)

年度	R2迄	R3	R4	R5	R6	R7
育成数	129	141	155	170	187	205

⑥ 障がい者の就労者数

- ・農林事務所、ぎふアグリチャレンジ支援センターによる調査で確認

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
就労者数	—	4 2 1	4 9 6	5 6 1	6 3 6	7 1 8

⑦就労継続支援B型事業所の平均工賃

- ・厚生労働省通知に基づく工賃(賃金)実態調査にて把握(農林業分野のみではない)。
- ・R 3～R 5の目標値は、第4期岐阜県工賃向上計画より。

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
工賃(円)	15,346	16,500	18,300	20,000	20,000	20,000

7 農福連携の推進体制

- ・ぎふアグリチャレンジ支援センター内に設置した「農福連携推進室」がワンストップ窓口となり、農福連携の相談対応できる体制を整備。
- ・県部局長で構成する推進本部を設置し、全庁横断的に施策を推進。
- ・外部有識者等の入った岐阜県農福連携地域ネットワーク会議により、効果的な農福連携の方策を検討。
- ・県下10個所に県農林事務所、市町村、JA、障害者就業・生活支援センター、福祉事業所、特別支援学校等を構成員とする「地域連携会議」を設置し、地域における農福連携を推進。

<推進体制イメージ図>

